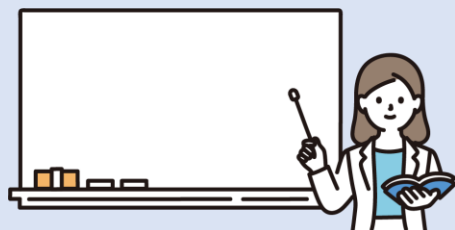


2025年度

高等学校  
生徒・教員のみなさまへ



# 探究学習支援プログラム ガイドブック



相模女子大学  
相模女子大学短期大学部  
Sagami Women's University

## 目次

1. 趣旨
2. 「探究学習支援プログラム」の概要
3. ご相談の流れ
4. ご相談にあたっての留意事項
5. お問い合わせ先
6. ご相談から当日までの流れ
7. 学部・学科一覧
8. 2024 年度に実施した「探究学習支援プログラム」(一部抜粋)
9. A・B プランのご紹介
10. 相談シート

## 1. 趣旨

相模女子大学・相模女子大学短期大学部は、教育・研究に関するノウハウを高等学校の教育現場に還元する取り組みの一環として、高等学校の生徒・教員のみなさまを対象とした「総合的な探究の時間」への支援を行っております。

本ガイドブックをご確認のうえ、ご相談ください。

## 2. 「探究学習支援プログラム」の概要

プラン内容	A プラン<ライトな探究学習支援> テーマ設定・調べ方をサポートします。
	B プラン<コアな探究学習支援> 調査・資料作成・プレゼンテーションなど、実践的且つ具体的なアドバイスを行います。打ち合わせから完成に至るまで、全工程を包括的にサポートします。

## 3. ご相談の流れ

本ガイドブック最終ページの「相談シート」に必要事項をご記入のうえ、授業の目的や計画がわかる資料(任意様式)を添えて、生徒・教員のみなさまいずれの方からより送付いただきますようお願い申し上げます。内容を確認のうえ、2～3 週間程度を目途に実施の可否などについて回答させていただきます。

## 4. ご相談にあたっての留意事項

- ① ご相談内容、ご相談時期によっては回答にお時間を要する場合がございます。
- ② 必要に応じて、電話やメールなどで詳細を確認させていただく場合がございます。実施内容につきましては、可能な限り詳細にご提示いただきますようお願い申し上げます。
- ③ 生徒のみなさまからご相談いただく際は、相談シート及び授業の目的や計画がわかる資料(任意様式)を、事前に担任の先生に確認いただいたうえで、ご連絡ください。
- ④ 生徒のみなさまからご相談をお受けするにあたり、必要に応じて、相談シートにご記入いただいた担任の先生のご連絡先へ、内容の確認をさせていただく場合がございます。
- ⑤ 本支援の趣旨に基づき、営利目的または研修を目的としたご相談につきましては、受け入れをお断りしております。
- ⑥ ご相談は、生徒及び教員いずれの方からでもお受けいたします。検討の結果、お引き受けできることとなりましたら、正式なお申込みが必要となります。その際は、教員のみなさまからお申し込みください。

## 5. お問い合わせ先

相模女子大学・相模女子大学短期大学部 夢をかなえるセンター 連携教育推進課

Tel:042-813-5038 Fax:042-747-9599

E-mail:renkei@mail2.sagami-wu.ac.jp

## 6. ご相談から当日までの流れ

### ○ご相談（メール）

（生徒・教員のみなさま⇒相模女子大学）



本ガイドブック最終ページの「相談シート」\*に必要事項をご記入のうえ、授業の目的や計画がわかる資料（任意様式）を添えて、お送りください。

■送付先:renkei@mail2.sagami-wu.ac.jp

■送付いただく資料:相談シート、授業の目的や計画がわかる資料（任意様式）

\*相談シートについては、下記二次元コードより、ページ最下部の探究学習支援「相談シート」からもダウンロード可能です。



### ○実施可否などの回答

（相模女子大学⇒生徒・教員のみなさま）



ご相談から 2～3 週間程度で、メールにて回答させていただきます。

※検討の結果、お引き受けいたしかねる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

### ○依頼文書の送付

（教員のみなさま⇒相模女子大学）



お引き受けできることとなりましたら、大学宛に依頼文書（任意様式）をお送りください。

### ○実施当日までの準備

（相模女子大学⇄生徒・教員のみなさま）



**実施当日**

大学と、生徒・教員のみなさまで打ち合わせを行いながら、実施当日までの準備を進めます。

※必要に応じて、打ち合わせは複数回実施することもあります。

## 7. 学部・学科一覧

### 【学部・学科】 2025 年度までの構成

学芸学部	日本語日本文学科/英語文化コミュニケーション学科/ 子ども教育学科/メディア情報学科/生活デザイン学科
人間社会学部	社会マネジメント学科/人間心理学科
栄養科学部	健康栄養学科/管理栄養学科
短期大学部	食物栄養学科

NEW

2つの新学科が誕生。

3 学部 10 学科に生まれ変わります。

新学科特設サイトは  
こちらから⇒



### 【学部・学科】 2026 年度以降の構成

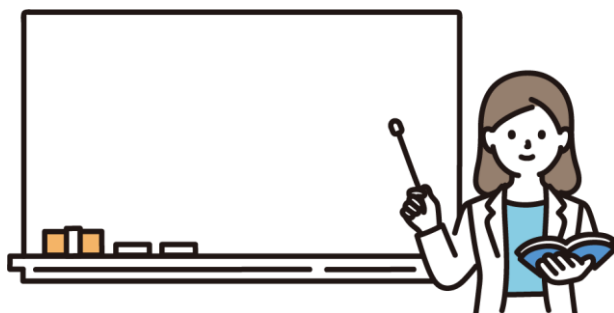
学芸学部	日本語日本文学科/ <u>国際コミュニケーション学科</u> / 子ども教育学科/メディア情報学科/生活デザイン学科
人間社会学部	社会マネジメント学科/人間心理学科/ <u>地域クリエーション学科</u>
栄養科学部	健康栄養学科/管理栄養学科

## 8. 2024 年度に実施した「探究学習支援プログラム」(一部抜粋)

2024 年度に本学が実施した探究学習支援プログラムの一部をご紹介します。実施内容のご検討に際し、参考にしていただけましたら幸いです。

プラン : A プラン<ライトな探究学習支援>  
対応学科 : 短期大学部 食物栄養学科  
実施内容 : 「食品添加物」をテーマに、食品添加物を与える健康への影響について、本学教員に対し、対面にてインタビューを実施

プラン : B プラン<コアな探究学習支援>  
対応学科 : 人間社会学部 社会マネジメント学科  
実施内容 : 「フードロスの削減と健康づくり」をテーマに、本学教員が高校を訪問し、捨てられている農産物を活用したスープの商品開発に関する特別授業を実施



できる限りご相談にお応え  
できるよう支援いたします。  
まずはお気軽にご相談ください。

2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Aプラン】

学科	キーワード	専門分野	氏名	Bプラン 対応可 (詳細別紙)
日 本 語 日 本 文 学 科	日本語日本文学科の特色 日本語日本文学科は、日本の言語や文学・文化に関する幅広い知識と深い教養を備えた人材を育成します。それは、広い視野をもち、論理的で柔軟な思考を展開できる人。また日本語の優れた運用能力・技能を身に付け、コミュニケーション力・表現力などを発揮し、社会のさまざまな分野で活躍することができる人。そして、日本の文化についての深い理解と教養を身に体し、社会に向けて発信できるとともに、次の世代にも伝えることができる人です。本学科では4年間を通して、興味あるテーマや学んだことを掘り下げる（読む・調べる・考える）力と、表現する（書く・描く・話す・うたう・創る）技能を高めます。そして、学びの集大成として卒業研究・卒業制作に取り組みます。			
	日本文学 日本文学史 日本語学	近代・現代日本語の語彙語法	梅林 博人	
	国語科教育 日本語教育 日本語授業研究 日本語古典	図書館情報学（資料分類法/情報資源組織論） アーカイブズ学 記録管理学	金井 喜一郎	
	中国文学 中国古典文学 図書館 図書館サービス	中国古典文学 （特に蘇軾を中心とする宋代の詩）	加納 留美子	
	語学(日本語) 教員養成 書道 書道教育	日本古典文学 （特に『伊勢物語』『竹取物語』『源氏物語』などの平安朝物語を中心とする）	後藤 幸良	
	現代文化 伝統文化 文章能力 映像と文学	中国書法史 中国書画碑帖収蔵史	下田 章平	
	語彙 小説 俳諧	平安時代の和歌文学 平安時代の日記文学	武田 早苗	
	アーカイブズ 伊勢物語 竹取物語 源氏物語 軍記物語	日本語学（特に現代日本語の文法／日本語教育文法） 日本語教育学	永谷 直子	○
	文学理論 ジェンダー論 和歌 日記	日本近現代文学（戦後文学/三島由紀夫/国語教育）	藤田 佑	
	比較文化 日本近代文学 日本近現代文学	比較文学・比較文化 永井荷風	南 明日香	
	古事記 日本書紀 万葉集 神話	図書館情報学（国際比較図書館学/図書館情報専門職教育）	宮原 志津子	
		日本近現代文学 美学 芸術史 近代作家の知的文化圏 森鷗外	山口 徹	
		日本古典文学 （特に『古事記』『日本書紀』『万葉集』などに見られる神話を中心とする）	山田 純	

2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Aプラン】

学科	キーワード	専門分野	氏名	Bプラン 対応可 (詳細別紙)
英 語 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	英語文化コミュニケーション学科の特色 異文化間の橋渡しを担うことのできる「グローバル人材」を育成します。自分とは異なる文化・行動様式を理解して受け入れようとする好奇心と柔軟性、グローバル化が進む社会において的確な判断と行動の基盤となる教養、そして豊かなコミュニケーション能力を育みます。 英語教育を基盤とし、幅広い教養と社会で通用する専門性を身に付ける「国際教養」「観光ビジネス」「グローバル実践」の3領域を設け、学生個々の興味や関心に合わせて履修ができる体制を整えています。また、社会に出るための準備としてインターンシップ、キャリア教育にも力を入れています。			
	語学（外国語） 英語音声学 イギリス文学 アメリカ文学 キャリア・プランニング 外国文学 異文化コミュニケーション 国際関係 国際文化 国際教養 観光 教員養成（教育学） 英語科教育 ホスピタリティ 通訳 翻訳 映像コミュニケーション ソーシャルイノベーション TOEIC	英語教育（英語の学習方法、指導方法） 教育方法 批判的思考 国際バカロレア教育 英語教材開発	赤塚 祐哉	○
		TESOL（Teaching English to Speakers of Other Languages）	上條 美和子	
		positive psychology, educational psychology, and productivity	ジェイソン・ゴールド	
		映像メディア研究 映像芸術・文化論 映像リテラシー・コミュニケーション・ファシリテーション ヴィジュアルデザイン（意味のイノベーション）	堤 龍一郎	○
		観光学 観光産業と社会のつながり ツーリストシップ	羽田利久	
		言語教育 異文化コミュニケーション 留学	ボーク・ギャリー	
		実務英語 通訳技法 英語教育 国際語としての英語	宮本 節子	
		経営学 地域および組織活性化 持続可能な観光 ソーシャル・イノベーション	依田 真美	
		言語教育 多文化教育 社会教育など	渡辺 幸倫	○



2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Aプラン】

学科	キーワード	専門分野	氏名	Bプラン 対応可 (詳細別紙)
子 ど も 教 育 学 科	子ども教育学科の特色 子ども教育学科は、小学校・特別支援学校・幼稚園・保育所を含む児童福祉諸施設での教育・保育を担える人材を育成します。適正な理念に裏打ちされた、教育・保育の現場で通用する専門知識や技能を修得するとともに、社会の形成者・保護者となるために必要な知識や教養、そして教育・保育活動に必要なコミュニケーション能力も身に付けていきます。講義で学んだ知識と実践で身に付けた技術を、実習など教育・保育の現場での経験と関連させながら、子どもへの理解を徐々に深めていきます。			
	教育 保育 幼児教育 遊び 国語科指導 算数科指導 図画工作指導 音楽指導 体育指導 教育相談 心理 教育原理 教育の歴史 教育コミュニケーション 教員養成 特別支援 音楽 理解と指導（聴覚・言語障害児） 理解と指導（LD・ADHD） 子ども家庭支援 子ども家庭福祉 子育て支援 子ども教育とメディア 発育・発達 子どもの保健 キャリア教育	保育学 幼児教育学	浅見 佳子	
		理科教育学 生活科教育学 幼児期の自然科学	池田 仁人	
		幼児教育学 保育学	宇田川 久美子	
		音楽教育学 音楽学	岡部 芳広	
		臨床心理学 教育心理学 発達心理学	荻本 快	
		保育学 幼児教育学	金元 あゆみ	
		保育学 幼児教育学	齋藤 正典	
		体育科教育学 子どもの運動遊び	宗野 文俊	○
		医学 臨床発達心理学 特別支援教育 インクルーシブ保育 音声言語とコミュニケーション 言語発達とその障害の診断及び指導法 発達障害児指導法 幼児期の発達支援と保護者支援 など	東都 ガーボル	
		臨床発達心理学 障害児心理学 子育て支援 応用行動分析	中内 麻美	
		社会福祉学（子ども家庭福祉、社会的養護） ソーシャルワーク	中島 健一郎	
		児童文化学 子どもメディア論 情報モラル ICT・メディアリテラシー教育	七海 陽	
		国語科教育学 キャリア教育	成家 雅史	○
		特別支援教育 知的障害教育	宮野 雄太	
		数学教育学	柳 健	
		音楽学 音楽教育学	渡邊 佐恵子	

2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Aプラン】

学科	キーワード	専門分野	氏名	Bプラン 対応可 (詳細別紙)
メディア情報学科	メディア情報学科の特色 メディア情報学科はコース制ではなく、制作する知識とスキルを身に付ける制作系科目と、知識を深め分析していく研究系科目の両方を学ぶことができます。それは、相互の学びを体験することにより、幅広く、深みのあるものになるからです。学芸員課程、教職課程、司書課程に関しても、制作・研究の学修と並行して資格取得が行えるようになっています。これらの過程を経て、ゼミナールおよび卒業研究で自身の専門分野について深く学び、考えていきます。			
	メディア情報情報管理プログラミング映像・動画編集映像史言語文化教員養成マンガアニメーション芸能文化論データ分析Webデザインメディアデザインデジタルデザインアプリケーション開発ネットワークセキュリティデータベースデータ分析広告メディア文化史メディアの心理メディアビジネスメディアコミュニケーションデジタルデザインマーケティングモード外国文化と映像表現	人間工学 教育工学 情報アクセシビリティ	池下 花恵	
		データベース デジタルライブラリ	今井 さやか	
		マンガ研究 ポピュラー文化研究 表象文化論	岩下 朋世	
		教育工学 メディアコミュニケーション インターネットの心理学	加藤 由樹	
		バーチャルリアリティ (VR) 映像コンテンツ制作	金 相賢	
		マーケティング 流通	久保 康彦	
		地域文化論 表象文化論 フランス文学	坂本 佳子	
		情報工学 画像処理	佐藤 貴子	
		TESOL(Teaching English to Speakers of Other Languages)	ジャクリーン、 リープス	
		メディア・コミュニケーション論 メディア社会論 都市文化研究	塚田 修一	
		コミュニケーションデザイン ・空間演出デザイン ・造形デザイン ・ヴィジュアルデザイン	塚本 千晶	

2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Aプラン】

学科	キーワード	専門分野	氏名	Bプラン 対応可 (詳細別紙)
生 活 デ ザ イ ン 学 科	<p>生活デザイン学科の特色</p> <p>生活を豊かにする4つのデザイン領域を学び、社会から求められる「総合的なデザイン力」を養う学科です。</p> <p>◆学びのポイント◆</p> <p>1. 複数のデザイン領域から学びたいデザイン分野を複数選べる</p> <p>2. 実務家教員による実践的でFace to Faceの指導</p> <p>3. 授業の8割が演習。作品をつくりながらデザインを楽しく学ぶ</p> <p>4. 授業の5割以上でパソコンを使用。デジタルスキルが自然に身に付く</p>			
	建築学・意匠 C A D インテリア 住居学 服飾・被服学 ファッションデザイン 色彩 素材 空間デザイン 材料 プロダクトデザイン インタラクティブデザイン ファッションデザイン パターンメイキングCAD 建築デザイン グラフィックデザイン イラストレーション デジタルペインティング モデルメイキング	テキスタイルデザイン 繊維造形 素材加工 舞台衣裳	牛尾 卓巳	
		WEBサイト及びデジタルによる デザイン	門屋 博	
		建築学 建築意匠設計	桑原 茂	
		プロダクトデザイン ディスプレイ・空間デザイン ブランディング・グラフィック デザイン インテリアデザイン	甲賀 友子	
		建築意匠	柴田 淳	
		グラフィックデザイン アートディレクション イラストレーション	堀内 恭司	
		プロダクトデザイン ファニチャーデザイン パッケージデザイン インテリアデザイン	柳邊 匡史	

2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Aプラン】

学科	キーワード	専門分野	氏名	Bプラン 対応可 (詳細別紙)
社会 マ ネ ジ メ ン ト 学 科	社会マネジメント学科の特色 明るくあたたかい安心な社会をつくるために、現代のくらしの問題を考え、解決策を提案し、それを実行できる力を身に付けます。 ◆学びのポイント◆ 1. 身近な問題の問題解決に向けてチーム学習するプロジェクト型教育 2. さまざまな経験・体験をし、実学的なスキルを身に付けられる 3. コミュニケーション力、協調性、プレゼンテーション能力を磨ける			
	経済学 経営学 社会学 民法（家族法） 労働法	映像作品の制作全般（監督・脚本・撮影・編集） 舞台演出 メディアリテラシー プレゼンテーション	井坂 聡	○
	社会保障法 行政法 生活保護制度 公共経済学 都市計画	経営戦略 マーケティング管理 消費者行動分析 商品開発	金森 剛	○
	交通・ロジスティクス 経済・消費 マーケティング 経営戦略	文化社会学 歴史社会学 質的調査	木本 玲一	
	ブランド戦略 商品開発 プレゼンテーション 遊びと人間	歴史社会学 大衆文化論 知識人論 地域研究	後藤 美緒	
	民族問題 国際関係 国際情勢 映像で学ぶ近現代史	多文化理解 地方創生 NPO	土屋キベ みなみ (春学期育休)	
	情報通信産業 地域社会 地方自治	家族社会学 社会調査	中西 泰子	
	集計・分析 統計 家族論	プログラミング 情報社会論など	橋場 利幸	
	プログラミング 社会の健康とスポーツ 福祉 社会福祉 地域福祉 高齢者福祉	健康応用科学 健康スポーツ 疫学 地域連携・福祉 学習支援等	肥後 梨恵子	
	ソーシャルワーク マスコミ 広報 消費者問題	高齢者福祉 地域福祉 ソーシャルワーク	松崎 吉之助	
		広報論 広告論 経営学 その他コミュニケーション論全般	宮田 穰	
		消費者行政・消費者法 経済法 国際経済法	山口 由紀子	
		交通・情報通信・動物園の経済学 道中食（駅弁、空弁、機内食、レストラン列車など） ロジスティクス 経済政策	湧口 清隆	○
		地域福祉 貧困問題 ボランティア 災害支援	横地 厚	

2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Aプラン】

学科	キーワード	専門分野	氏名	Bプラン 対応可 (詳細別紙)
人間心理学科	人間心理学科の特色 人間心理学科では、幅広い視点から人間の心を捉えます。4年間を通して、文化・社会・他者・自己・身体・精神などさまざまな観点から人の心について理解を深めます。心理・人間文化・社会福祉の3つの領域から、興味・関心に応じて科目を選択し、多彩な体験型授業から、それぞれの領域についてじっくり学んでいきます。その過程で、主体的に調べ・学び・表現する能力、自分自身を観察（内省）したり、他者との関わりの中で発見（対話）する能力、論理的・批判的思考を通じて物事を客観的に分析する能力、人間の営みを文化や社会から考察できる能力などを養います。			
	心の健康 心の成長 心と体 ストレス リラクゼーション マインドフルネス スピリチュアリティ 癒しとケア	臨床心理学 ソマティック心理学 仏教心理学	石川 勇一	
	幸福 愛 心理療法 セラピー カウンセリング	哲学・倫理学 フランス社会思想史	伊東 俊彦	
	心理テスト 脳科学 個人差（性格、知能など）	障害と社会，福祉社会学	遠藤 翔馬	
	感情 記憶 錯覚	ポジティブ心理学 トランスパーソナル心理学	尾崎 真奈美	
	リーダーシップ チームワーク コミュニケーション ソーシャルワーク	障害者福祉 社会福祉	狩野 晴子	
	発達支援 生活支援 価値観の多様性	動物心理学 行動分析学	後藤 和宏	
	社会倫理 暮らしと文化 伝統文化	環境心理学 感情心理学 心理統計	芝田 征司	
	フィールドワーク 語り	社会心理学 産業・組織心理学	菅沼 崇	
		福祉心理学 高齢者福祉・心理学	武部 正明	
		心理療法，カウンセリング	橋本 和幸	
		文化人類学 日本民俗学	村松 彰子	
		実験心理学 発達認知科学	山本 絵里子	

2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Aプラン】

学科	キーワード	専門分野	氏名	Bプラン 対応可 (詳細別紙)
健康栄養学科	健康栄養学科の特色 健康栄養学科では、幅広い視点から食にアプローチし、栄養士＋αとしての複数の資格を有する人材を育成しています。食・栄養・健康における論理的な思考や、栄養士に必要なコミュニケーション能力を修得するほか、生活の質の向上に向けて積極的に社会貢献する力、新しい知識や技術の修得に努める力も育てます。 卒業時に、栄養士の資格に加えて、家庭科・保健体育科の教員免許やフードスペシャリストなどの複数の資格の取得が可能です。さらに、卒業後に、栄養士として1年以上の実務経験を積むことによって、管理栄養士国家試験の受験資格も得られます。			
	家政学 食物学 食品学 教員養成（家庭科） 給食管理 運動栄養 スポーツ栄養	住居学（特に建築衛生学、環境人間工学） 家庭科教育	榎本 ヒカル	
	住居学 住生活論 家庭科教育 解剖生理学 生化学 公衆栄養 栄養指導 臨床医学 臨床栄養学 栄養学 病態栄養学 食品機能 食品衛生 公衆衛生 食品加工 食品官能評価・鑑別 フードスペシャリスト 調理学・調理科学 ライフステージの栄養学	生化学（酵素学） 分子生物学 ウイルス学 栄養学（解剖生理学）	奥村 裕司	
		調理学 食品学	片平 理子	
		運動生理学 スポーツ科学	笹田 周作	
		栄養教育 公衆栄養	猿倉 薫子	
		内科学・代謝学（脂質異常症、糖尿病、骨・軟骨代謝） 分子生物学 細胞生物学	嶋田 昌子	
		食品学 食品機能学 人類遺伝学	鶴崎 美徳	
	臨床栄養学 保健統計学 環境衛生学 応用健康科学 応用栄養学 生化学（酵素学） 分子生物学 ウイルス学 栄養学（解剖生理学）	教育学 教育方法学 生活指導論	富田充保	
		食品機能学 食品加工学 栄養教育	坂野 麻里子	
		調理科学 食品の機能性	福永 祥子	
		給食経営管理 調理科学	本間 祐子	
		臨床栄養学	水上 由紀	
		スポーツ栄養学	柳沢 香絵	
		応用健康科学 応用栄養学	吉田 明日美	

2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Aプラン】

学科	キーワード	専門分野	氏名	Bプラン 対応可 (詳細別紙)
管 理 栄 養 学 科	管理栄養学科の特色 人の健康や生命を「食」からサポートできる人間性豊かな管理栄養士を育てます。 ◆学びのポイント◆ 1. 将来の多彩な進路に向けた社会参加型の実習 2. 充実の国家試験対策 3. 管理栄養士国家試験合格率85.0%(2023年3月卒業生)			
	管理栄養士	臨床栄養学	今井 敦子	
	家政学			
	栄養学	食品学	大荒田 素子	
	応用栄養学			
	高齢者臨床栄養学	公衆衛生学	落合 裕隆	
	食物学	疫学		
	食品学			
	調理学	生化学	黒岡 尚徳	
	教員養成	分子生物学		
	解剖生理学	分子栄養学		
	食事療法			
	栄養教育	食品衛生学	黒川 優子	
	給食	環境科学		
	給食経営	食生態学		
	食育・食教育	公衆栄養学	円谷 由子	
	臨床栄養学			
	公衆衛生			
	食品衛生			
	生化学			
	地域保健活動			
	フードサービスマネジメント	給食経営管理分野	縄田 敬子	
	臨床栄養学			
	外科学	神経科学	樋川 直司	
	消化器病学	生理学		
	救急医学			
	病院感染制御学	調理学	保瀬 由江	
	摂食嚥下リハビリテーション	調理科学		
	老年医学			
	在宅医療	臨床栄養学	松永 裕美子	
	口腔科学			
		給食経営管理分野	萬年 遼	
		臨床栄養学 外科学 消化器病学 救急医学 病院感染制御学 摂食嚥下リハビリテーション 老年医学 在宅医療	望月 弘彦	
		栄養教育論 食育・食教育	吉岡 有紀子	
		口腔科学 応用栄養学	吉野 陽子	

2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Aプラン】

学科	キーワード	専門分野	氏名	Bプラン 対応可 (詳細別紙)
食 物 栄 養 学 科	食物栄養学科の特色 現代社会が求める高度で専門的な栄養知識を有し、食を通して人々の健康の維持・増進に積極的に関わることのできる栄養士をめざします。修得した「食物と栄養」に関する専門的な知見を人々の生活の質の向上に役立て、他者との間に厚い信頼関係を築ける人材を育成します。 将来、自分は何をしたいのか。どんな栄養士になりたいのか。1年次に開講される栄養士入門講座では、自分の目的意識を明確にしながら、食と栄養に関する専門的な知識と技術を身に付けて、栄養士の資格取得をめざしていきます。2年次に開講される栄養士実践実習やゼミナールでは、社会に出て自分の武器となる「ひとつ上の学び」を修得します。また、正課外活動を全面的に推進して、学んだ知識を応用・発展させる場を展開します。			
	栄養士 家政学 栄養学 商品開発 応用栄養学 臨床栄養学 食物学 調理学 公衆衛生学 食品衛生学 給食管理 スポーツと栄養 栄養指導 公衆栄養学 運動生理学 解剖生理学 食品学 生化学 栄養教育 栄養疫学 社会医学 神経科学 アレルギー疾患 皮膚疾患	応用栄養学	今井 愛	
		生化学	大村 正史	
		栄養指導	篠原 暁子	
		食品学分野	関根 康子	
		給食管理	高橋 孝太	
		調理学	柳内 志織	



2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Bプラン】

学科	教員	専門分野	探究学習支援の内容など	実施形式					
日本語 日本文学科	永谷 直子	□日本語教育学 □日本語学	【高等部生のみ】現在、日本語を母語としない児童・生徒（外国につながる児童・生徒）が増えています。外国につながる児童・生徒を知ることは、日本社会を知る機会、自身の日本語を見直す機会になります。日本語の支援の側面から、外国につながる児童・生徒を知るという探究学習に関し、支援が可能です。本学は神奈川県立高校、NPO団体が運営するCEMLAスクールに協力しており、大学生がボランティアとして参加しています。探究学習の一環としてCEMLAスクールの見学も可能です（ただし、学習者を調査対象とすることはNPO団体から認められていません）。	【通年】※ 要相談 ※時期と時間はお相談ください  【夏休み】 要相談  出張講義やCEMLA見学のサポートなどをおこないます。					
		卒業論文テーマ	□やさしい日本語と子どもに向けた日本語の違いについて □初級日本語教科書における会話の分析 □災害時のラジオ放送における「やさしい日本語」とは □スタジオジブリ作品のキャラクター名における音象徴 □現代で使用される「あざとい」の用法について □映画ポスターにおけるキャッチコピー	内容の例					
				オリエンテーション	調査	意見交換	報告資料	発表	その他
				要望に応じて調整					
学科	教員	専門分野	探究学習支援の内容など	実施形式					
英語文化 コミュニケーション学科	赤塚 祐哉	□国際バカロレア教育 □批判的思考の育成 □英語科教育（指導）	担当教員は中学（2年間）、高校（18年間）での英語教員を経験を有し、国際バカロレア（IB）校での指導経験をもっています。専門分野は「問いにより駆動する授業」を核とした教育方法です。主に批判的思考を育成する英語授業の設計及び教材開発を研究の対象としています。そのため、問いによって物事の本質に迫ろうとする学びの実現につながる授業方法の開発支援が可能です。基本的には、高等学校の先生方とは共同研究という形態をとり、理論と実践の往還を意識した授業設計を一緒にしたいと考えています。	【7月末まで】※ 月・火・金  【夏休み】 要相談  【9月下旬以降】※ 月・水・金 ※時期と時間はお相談ください  出張講義も本学での講義も可能です。高校の先生方との共同研究（学会・研究会での発表、共著論文）も可能です。					
		卒業論文テーマ	□国際バカロレア教育とリーダーシップ育成の関連性に関する研究 □国際バカロレア教育プログラムにおける英語授業の内実に関する研究 □クリティカルシンキングを育成する高校英語の授業	内容の例					
				オリエンテーション	調査	意見交換	報告資料	発表	その他
				○	○				○共同研究

2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Bプラン】

学科	教員	専門分野	探究学習支援の内容など	実施形式					
英 語 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	堤　龍一郎	<div><input type="checkbox"/>映像コミュニケーション</div> <div><input type="checkbox"/>ファシリテーション</div> <div><input type="checkbox"/>発想と課題解決</div>	今回はミツバチを通じて、環境、資源管理、健康、食といった社会課題を理解し、それらを地域社会や観光、共生とつなげて考えます。  そして、伝えたいメッセージを物語として編み上げるために、イメージを可視化させたストーリーテリングの手法を身につけることを目指します。暗黙の前提を問い直し、多 角度からものの見方を考えて、伝え方を探究します。	【通年】※ 水・木　18:00以降 ※時期と時間をご相談 ください。  【夏休み】 要相談  本学にて高次学習型の ワークショップ形式をお こないます。構成は、導 入（趣旨説明とアイスブ レイク）、知る活動（情 報収集と共有）、創る活 動（個人またはグルー プでの物語制作）、まとめ （作品の発表と鑑賞、経 験の振り返り）となりま す。					
		卒業論文テーマ	<div><input type="checkbox"/>情報に意味を持たせて構造化するグラフィックレコー ディング</div> <div><input type="checkbox"/>場と発想を活性化させるグラフィックファシリテーショ ンの作法</div> <div><input type="checkbox"/>意味をイノベーションするための映像読解モデル</div> <div><input type="checkbox"/>ChatGPTを用いたストレスを緩和するポジティブリフ レーミング</div>	内容の例					
			<div>オリ エン テー シ ョ ン</div> <div>調 査</div> <div>意 見 交 換</div> <div>報 告 資 料</div> <div>発 表</div> <div>そ の 他</div>	<div>○</div>	<div>○</div>	<div>○</div>	<div>○</div>	<div>○</div>	<div></div>

2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Bプラン】

学科	教員	専門分野	探究学習支援の内容など	実施形式								
英語文化コミュニケーション学科	渡辺 幸倫	<div><input type="checkbox"/>多文化社会論</div> <div><input type="checkbox"/>言語教育</div> <div>など</div>	日本は多様な背景を持つ人々の暮らす多文化社会です。日本における人々の「多様性」にはどのようなものがあるのか、それらの人々が快適に暮らす「社会」はどうあるべきなのかを考えるお手伝いをします。	<div>【7月末まで】※</div> <div>火・水・木・金</div> <div>【夏休み】</div> <div>要相談</div> <div>【9月下旬以降】※</div> <div>火・水・金</div> <div>※時期と時間をご相談ください。</div> <div>講義は出張可能です(またはZoom)。「多文化社会としての日本について」の講義です。相談・アドバイスのつきまちは、知りたいことがある程度明確になっていることが前提となります。どのような資料があり、どのような調査があり得るのかなどのアドバイスをします。すべてZoomも可です。時間は1時間を想定しています。</div>								
		卒業論文テーマ	<div><input type="checkbox"/>横浜市立〇〇図書館の使い方案内の3言語訳（英語、韓国語、中国語）の作成</div> <div><input type="checkbox"/>ビーガンレストランのオンラインマップの作成</div>	内容の例								
				<table><tr><td>オリエンテーション</td><td>調査</td><td>意見交換</td><td>報告資料</td><td>発表</td><td>その他</td></tr><tr><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	オリエンテーション	調査	意見交換	報告資料	発表	その他	○	
オリエンテーション	調査	意見交換	報告資料	発表	その他							
○		○			○							

2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Bプラン】

学科	教員	専門分野	探究学習支援の内容など	実施形式					
子ども教育学科	宗野 文俊	□体育科教育学 □子どもの運動遊び	近年、子どもの体力や運動能力の低下が問題視されています。これらのことは、いったい何が問題となっているのでしょうか。運動やスポーツ、体育など身体運動に関して、特に子どもを対象にさまざまな観点からとらえてみたいと考えています。	【春学期】 要相談 【秋学期】 要相談 【長期休暇中の対応の可否】 要相談  高校での出張授業、本学での講義、Zoomなどでのオンライン講義、メールでの対応などは可能です。調査や実習などは、事前にご相談ください。					
		卒業論文テーマ	□幼児の遊びの生成過程について □体育が苦手な子どもへの指導について □幼児期におけるダンスの取り組みに関する研究 □なぜ、子どもの体力低下は問題なのか	内容の例					
				オリエンテーション	調査	意見交換	報告資料	発表	その他
				○	○	○	○	○	

2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Bプラン】

学科	教員	専門分野	探究学習支援の内容など	実施形式					
子ども教育学科	成家 雅史	<div><input type="checkbox"/>言葉（国語、書くこと） <input type="checkbox"/>子ども <input type="checkbox"/>教育 <input type="checkbox"/>発達 <input type="checkbox"/>学び <input type="checkbox"/>自己</div>	専門は、国語科教育学と小学校教員養成です。国語科教育においても、特に書くことが専門です。また、それぞれの分野を関連させた、例えば、言葉と発達であったり、子どもと教育などもテーマとして支援することができます。現在は、書くことにおいてキャリア教育との接合を視野に入れた「自己語り」や「自己物語」を研究しています。そこで、自己というものも支援の分野に入れています。	【7月末まで】 要相談 【夏休み】 要相談 【9月下旬以降】※ 水・木・金すべて午後 ※時間ご相談ください  出張講義も本学での講義も可。調査は対象によりますが、文献であれば、本学の図書館を利用してもらうとよいと思います。					
		卒業論文テーマ	<div><input type="checkbox"/>児童が互いを認め合える学級づくりの検討－現役教師たちへのインタビューから－ <input type="checkbox"/>英語活動における絵本を活用した取り組み－小学校3年生を対象にした読み聞かせを通して－</div>	内容の例					
				オリエンテーション	調査	意見交換	報告資料	発表	その他
				○	○	○	○	○	

2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Bプラン】

学科	教員	専門分野	探究学習支援の内容など	実施形式					
社会マネジメント学科	井坂 聡	<input type="checkbox"/> 映像制作 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	地域や身の回りにある課題解決のために、動画CMを制作したり、フィールドワークや聞き取りを行って、パワーポイントなどの資料を作成し、人の心に届く発表をおこなうスキル向上の支援をいたします。	【7月末まで】 火（午前）、水 【夏休み】 8月10日まで 【9月下旬以降】 月（16:30以降）、 水、土（午前）  高校での出張講義と校外実習を組み合わせでの実施を考えています。 課題やテーマ設定は生徒のみなさんで行っていただき、そこに適宜アドバイスをしていくという進め方を考えています。 受け身ではなく、積極的に行動する姿勢を求めます。					
		卒業論文テーマ	<input type="checkbox"/> 『マーガレットTV』 <input type="checkbox"/> 『音楽番組 歌ってポコアポコ』 <input type="checkbox"/> 『THE GRADUATION MOVIE』 <input type="checkbox"/> 『相女大陸』 <input type="checkbox"/> 『ブラックスクール』（全て共同制作の映像作品）	内容の例					
				オリエンテーション	調査	意見交換	報告資料	発表	その他
				○	○	○	○	○	

2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Bプラン】

学科	教員	専門分野	探究学習支援の内容など	実施形式					
社会マネジメント学科	金森 剛	<input type="checkbox"/> マーケティング論 <input type="checkbox"/> ブランド論 <input type="checkbox"/> 消費者心理学 <input type="checkbox"/> 経営戦略論	商品開発やプロモーションプランなどを企画されている方にお手伝いができます。  通常の手順は、目的の確認、スケジュール作成、対象者ニーズの分析、競合商品の分析、商品コンセプト仮説の作成、コンセプトテスト、報告書作成となります。	【7月下旬まで】 火、水、金（午前）  【夏休み】 要相談  【9月下旬以降】 月、火（午前）、水（午前）  ターゲットとなる企業や商品は高校で決めていただけます。高校生が具体的な目的を定めてプロジェクトメンバーを組織いただけましたら、計画策定のアドバイスが可能です。中間報告を伺いながら、最終的な報告までを支援いたします。場所は高校での出張講義も本学での講義も可能です。					
		卒業論文テーマ	<input type="checkbox"/> シャネルブランドの成功要因 <input type="checkbox"/> パッケージデザインの役割 <input type="checkbox"/> 物欲のない時代の消費 <input type="checkbox"/> 女子力評価尺度の開発	内容の例					
				オリエンテーション	調査	意見交換	報告資料	発表	その他
				○	○	○	○	○	○

2025年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 探究学習支援ご案内 【Bプラン】

学科	教員	専門分野	探究学習支援の内容など	実施形式								
社会 マ ネ ジ メ ン ト 学 科	湧口 清隆	□経済政策（交通、情報通信、観光、動物園・水族館、地域活性化、特産品開発など）	地域の課題を発見し、解決方法を見つけるためのプロジェクトや、修学旅行に向けた事前事後学習（沖縄県うるま市・勝連漁協と連携した生モズク体験プランを作成中）などを講演や発表会コメント方式で支援したり、調査・実習支援方式で生徒さんたちと一緒に計画づくりに協力します。	【7月末まで】 月（午前）、金（午前）、日（終日）  【夏休み】 要相談  【9月下旬以降】 月（終日）、火（午後）、日（終日）  出張講義も本学での講義も可能です。インタビュー受入れのほか、一緒に調査や実習もできます。								
		卒業論文テーマ	□「地域ブランド」のつくり方 □現代社会に即した市民農園の考察 □ゲストハウスは空き家解消の切り札になるのか □成功するまちづくり戦略に関する研究	内容の例								
				<table><tr><td>オリエンテーション</td><td>調査</td><td>意見交換</td><td>報告資料</td><td>発表</td><td>その他</td></tr><tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></table>	オリエンテーション	調査	意見交換	報告資料	発表	その他	○	○
オリエンテーション	調査	意見交換	報告資料	発表	その他							
○	○	○	○	○	○							



本シートに必要事項をご記入のうえ、授業の目的や計画がわかる資料(任意様式)を添えて、  
生徒・教員のみなさまいづれの方からより送付いただきますようお願い申し上げます。  
内容を確認のうえ、2～3週間程度を目途に実施の可否などについて回答させていただきます。

\*相談シートについては、右記二次元コードより、ページ最下部の探究学習支援「相談シート」からもダウンロード可能です。



## ■基本情報

☐ 生徒 ☐ 教員 (どちらかに✓をお付けください。) 申込日 年 月 日

学校名					所在地（都道府県）
					科
相談者名	フリガナ		担任の先生のご連絡先		
	氏名		氏名		
	電話番号		電話番号		
	E-mail		E-mail		
個人orグループ	<input type="checkbox"/> 個人でのご相談 <input type="checkbox"/> グループでのご相談（ 名）				

相談者が生徒のみなさまの場合、必ず太枠に担任の先生のご連絡先をご記入ください。

## ■ご相談内容

プラン		A	<ライトな探究学習支援>テーマ設定・調べ方をサポートします。	
		B	<コアな探究学習支援>調査・資料作成・プレゼンテーションなど、実践的且つ具体的なアドバイスを行います。打ち合わせから完成に至るまで、全工程を包括的にサポートします。	
学科				
担当教員	第1希望		第2希望	

実施日		日付	開始時間	終了時間
	第1希望			
	第2希望			
	第3希望			
開催形態 (対面orオンラインorどちらでも)			実施場所 (貴校or本学)	
実施概要	(具体的に記載いただくようお願いいたします)			
備考欄				

## ■本学からの確認事項 (同意いただける場合は、✓をお願いいたします。)

アンケート実施の可否	<input type="checkbox"/>	プログラム実施後に、生徒のみなさまを対象としたアンケートを実施させていただくことは可能でしょうか。 なお、個人情報の記載は任意とさせていただきます。
写真撮影の可否	<input type="checkbox"/>	本学ホームページなどの広報媒体用及び大学内部資料用として、当日の様子を撮影させていただくことは可能でしょうか。 なお、撮影に際しては、個人が特定されることのないよう、十分配慮いたします。
ご相談・ お問い合わせ先	相模女子大学・相模女子大学短期大学部 連携教育推進課 担当：中村・三木 〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1 Tel：042-813-5038 Fax：042-747-9599 E-mail：renkei@mail2.sagami-wu.ac.jp	

\_\_\_\_\_



**夢をかなえるセンター 特設サイト**



相模女子大学・相模女子大学短期大学部  
夢をかなえるセンター 連携教育推進課  
〒252-0383  
神奈川県相模原市南区文京2-1-1  
Tel : 042-813-5038 Fax : 042-747-9599  
E-mail : renkei@mail2.sagami-wu.ac.jp

